

## 平成30年5月17日定例教授会議事抄録

### 出席者

榊屋所長

青山、池本、板倉、大木、小寺、菅、園田、高橋、高見澤、長澤、中島、名和、平勢、松田、真鍋、安富の各教授

池亀、上原、額定其芳、藏本、鍾、塚本、馬場、古井、森本、米野の各准教授

### 海外渡航者

黒田、佐藤の各教授、秋葉准教授

### 議事

4月19日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

### 通知事項

1. 教員等の公募 なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P6のとおり1件

### 報告事項

#### 3. 所長報告

榊屋所長より、以下の会議等について報告があった。

##### 1) 科所長会議（4月24日）

- ① 東京大学・人文社会科学分野振興ワーキング・グループ（2016～17年度）報告書

資料P8～10に基づき、東京大学・人文社会科学分野振興ワーキング・グループ（2016～17年度）報告書について説明があった。また、このワーキング・グループの提言を受け、平成30年度予算の第3次配分で英文エディターの雇用を要求したとの報告があった。

- ② 平成30年度総長補佐の担当事項

資料P11～14に基づき、平成30年度総長補佐の担当事項について説明があった。

- ③ 平成30年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦

資料P15～24に基づき、平成30年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦を募集しているとの報告があった。

##### 2) 未来社会協創推進本部（4月24日）

資料P25に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

##### 3) 予算委員会（4月24日）

資料P26に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

##### 4) 科所長会議（5月15日）

- ① 留学生等受入に関する該非判定にかかる電子申請システムの導入

資料P 2 8～3 5に基づき、留学生等受入に関する該非判定にかかる電子申請システムの導入について、説明があった。

② 初年次長期自主活動プログラム (FLY Program) 活動報告

資料P 3 6に基づき、初年次長期自主活動プログラム (FLY Program) 平成 29 年度活動報告会が開催されるとの説明があった。

③ 平成 31 年度学術システム研究センター研究員候補者の推薦

資料P 3 7～4 6に基づき、平成 31 年度学術システム研究センター研究員候補者の推薦について、説明があった。

④ EDGE-NEXT program 説明会参加者募集

資料P 4 7～4 9に基づき、EDGE-NEXT program (次世代アントレプレナー育成事業) および説明会への参加者募集について説明があった。

5) 予算委員会 (5月15日)

資料P 5 0に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

6) 教員の海外渡航について (報告)

資料P 5 1～5 3のとおり13件を一部記述修正し承認した旨報告があった。

7) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P 5 4のとおり委員等3件を承認した旨報告があった。

8) 寄附金の受け入れについて

資料P 5 5のとおり1件を承認した旨報告があった。

9) その他

① 5月10日(木)に実施された平成30年度3次配分及び平成31年度概算要求書および教員採用可能数再配分のヒアリングについて報告があった。

② 資料P 5 6に基づき、平成30年度の科学研究費助成事業について、本研究所教員及び日本学術振興会特別研究員の内定状況について報告があった。

③ 平成29年度のコミュニケーションセンター収入について報告があった。

④ H30Aセメスター全学自由研究ゼミナールの担当について、担当教員は平成27年6月11日教授会において、希望者を優先したうえで着任日を基準に順番で担当することになり、今期 H30Sセメスターは米野准教授に担当していただくこと、今後の予定はH30Aセメスターを藏本准教授、H31年度は希望者がいなければ、秋葉准教授と上原准教授に担当いただくことになるとの説明があった。

⑤ 学術フロンティア講義について、今年度は東洋文化研究所が幹事で開講しているとの説明があった。また、今年度で3年目となり幹事部局が1周することから、来年度以降についての検討を始めるので協力いただきたいとの要請があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

特になし。

2) インフラ委員会

安富委員長から、

① 所内の研究室の配置について説明があった。

② 転倒の報告例のあった正面玄関の階段に、夜間に自動で点灯する照明設備を設置したとの報告があった。

③ 女子トイレに擬音装置の設置の要望があり、検討の結果、設置したとの報告があった。

④ ベンチが壊される事案があり、事務を通じて本部へ報告したとの報告があった。施設・設備への被害についての警察への通報の要否は部局で判断することとなるので、何か起きた場合には協力していただきたいとの説明があった。

このことに関連して各教員から、人体に危害が及ぶ事案であれば発見者や被害者本人が直接すぐに警察や警備室に通報すること、出火に関する事案はすぐに消火できた場合でも必ず消防への報告が必要であること、警察や消防への通報とあわせて部局の事務や本部へも報告が必要であるとの補足説明があった。

榎屋所長より、緊急時に備え、事務室や警察消防の他に安田講堂警備室の連絡先も承知しておいていただきたいとの要請があった。

### 3) 情報・広報委員会

高橋委員長から、

① 8月1日(水)および2日(木)に開催される高校生のためのオープンキャンパスへの参加について、今年度は米野准教授の企画を実施する予定であるとの報告があった。

② 公開講座について、今年度はホームカミングデイの日(10月20日)に、「アジアの教」をテーマに、鍾准教授と藏本准教授に担当いただく予定であるとの報告があった。

③ 東文研ホームページの中国語ページへの掲載事項について引き続き検討をしているとの報告があり、中国(語)に関する研究をしている方から意見やアイデアをいただきたいとの依頼があった。

### 4) 研究企画委員会

藏本委員より、今年度の定例研究会の日程について報告があった。

7月19日(木) スタンチアーニ特任教授(客員)

9月13日(木) 上原准教授

10月11日(木) 古井准教授

### 5) 図書委員会

大木委員長より、部局経費購入雑誌の見直しについて協力いただき、電子ジャーナルのある雑誌の一部について、冊子体の購入を中止することとしたとの報告があった。

森本委員より、5月14日開催のアジア研究図書館運営委員会について、分館設置に向けての協力等今年度の課題が確認されたとの報告があった。

### 6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし。

### 7) GJS委員会

園田委員長より、資料P57に基づき平成30年度のサマープログラムの応募状況およびプログラム案の報告があり、プログラムの最終日に行う成果報告会への参加について要請があった。

## 8) その他

名和環境安全管理室長より

① 今年度の産業医巡視および所長パトロールを7月2日(月) 13:30から実施するとの通知があり、所長立ち会いのもと全室を確認するのでそれまでに各自で居室の点検・整理をしておくよう要請があった

② 防火シャッターの下には物を置いてはいけないとの説明があり、傘を干すなどの一時的用途であっても置かないよう注意していただきたいとの要請があった。

③ カラスの攻撃について注意喚起があり、キャンパス内のハザードマップが作成されているとの報告があった。

## 5. その他

特になし

## 審議事項

### 6. 教員の海外渡航について

資料P 58のとおり2件が承認された。

### 7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P 59～62のとおり10件の受け入れが承認された。

### 8. 特任研究員の採用について

米野准教授より、回収資料に基づき1名の採用(新規)候補者について説明があり、承認された。

### 9. 社会科学高等研究院との全学国際交流協定の更新について

中島教授より、資料P 63～64に基づき社会科学高等研究院(フランス)との全学国際交流協定の更新について提案があり、承認された。

### 10. 平成29年度決算について

松田財務委員長から、資料P 65～71に基づき、平成29年度の予算執行状況、収支状況、預託金・剰余金・施設修繕準備金の現在高、間接経費の受払状況等について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

### 11. 平成30年度予算配分案について

松田財務委員長から、資料P 72～74に基づき、昨年度末の教授会で承認された個人研究費の追加配分を加え、前年度決算に基づく調整等を加えた配分案について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

### 12. 学内委員の委嘱について

榊屋所長より、資料P 75に基づき説明があり、承認された。

### 13. 所内委員会について

榊屋所長より資料P 76に基づき説明があり、承認された。

### 14. その他

榊屋所長より、国立大学附置研究所・センター長会議第3部会(人文・社会科学系)シンポジウムについて、平成31年度は部会長となる当研究所が主催すること、企画にあたっては予算の補助があること、実施の時期等の概要について説明があり、企画のあ

る方は申し出ていただきたいとの要請があった。

以上